

たいけん とお まな しょきゅうにほんごこうざ
体験を通して学ぶ初級日本語講座

Japanese Course (Beginner's Level)
Learn through activities

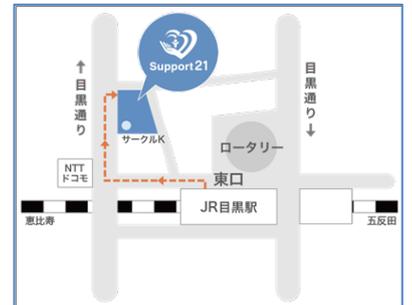
おひょう
無料
FREE!

にちじ ねん がつ にち がつついたち まいしゅう どようび
◆日時: **2016年5月14日 - 10月1日 毎週 土曜日**

May 14th - October 1st, 2015 Every Saturday

1:00pm - 4:10pm

ほしよ
◆場所: **さぼうと21** (めぐろえき ひがしぐちとほふん
At Support 21
(2 minutes walk from Meguro Sta. East Exit)



◆ **学ぶこと What We Learn** ◆

このコースでは、「街めぐり」「日本人とのおしゃべりタイム」「防災センター体験」「料理」等の体験をする中で、「生活に必要な日本語力」を身につけ、コースが終わるまでには「自分の力で日本語を使って行動できる勇気」をもてるようになることをめざしています。

The goal of this class is to give students the courage to use their own Japanese language skills in daily experiences. To help build those skills, this class will focus on language needed in everyday life and will include such activities as city excursions, a visit to the Disaster Prevention Center and cooking lessons, speaking opportunities with Japanese and much more.

この日本語クラスを受けたい人は、さぼうと21に早めに連絡してください。

If you're interested in this class, please contact Support21 as soon as possible.

TEL: 03-5449-1331 / E-mail: info@support21.or.jp

しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人 さぼうと21 Support21 Social Welfare Foundation

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル 6F

Mizuho Bldg. 6F, 2-12-2 Kamiosaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021

たいけん とお まな しょきゅうにほんごこうざ
体験を通して学ぶ初級日本語講座

Japanese Course (Beginner's Level)
Learn through activities

おひょう
無料
FREE!

◆日時: 2016年10月15日 - 2017年3月18日 毎週 土曜日

October 15th, 2016 - March 18th, 2017 Every Saturday

1:00pm - 4:10pm

◆場所: さぽうと21 (目黒駅 東口徒歩3分)

At Support 21

(3 minutes walk from Meguro Sta, East Exit)



◆ **学ぶこと What We Learn** ◆

このコースでは、「街めぐり」「日本人とのおしゃべりタイム」「防災センター体験」「料理」等の体験をする中で、「生活に必要な日本語力」を身につけ、コースが終わるまでには「自分の力で日本語を使って行動できる勇気」をもてるようになることをめざしています。

The goal of this class is to give students the courage to use their own Japanese language skills in daily experiences. To help build those skills, this class will focus on language needed in everyday life and will include such activities as city excursions, a visit to the Disaster Prevention Center and cooking lessons, speaking opportunities with Japanese and much more.

この日本語クラスを受けたい人は、さぽうと21に早めに連絡してください。

If you're interested in this class, please contact Support21 as soon as possible.

TEL: 03-5449-1331 / E-mail: info@support21.or.jp

しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人 さぽうと21 Support21 Social Welfare Foundation

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル 6F

Mizuho Bldg. 6F, 2-12-2 Kamiosaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021

理 解 を 深 め る 講 座

異国日本を生きる私、
そして私と家族

参加無料
定員 80 名

日時 2016 年 11 月 13 日 (日) 11 時～17 時

場所 明治学院大学 高輪校舎
(〒108-0074 東京都港区高輪 3-1-2) 詳細は、裏面の「交通のご案内」をご参照ください。

《 プ ロ グ ラ ム 》

● 11:00～12:30

定住外国人・若者世代からの発信 「外国につながる私、そして私と家族」

Nguyen Tat Trung さん (東北大学理学研究科化学専攻博士課程 1 年・神戸市生まれのインドシナ難民 3 世)

かげやま ひろし

景山 宙 さん (住友重機械工業株式会社に勤務・中国系日本人・中国生まれ・一人っ子)

あふそ じゅり

安富祖 樹里さん (上智大学ポルトガル語学科 4 年・横浜市鶴見区生まれの日系ブラジル人 3 世)

● 13:30～14:30

定住外国人・親世代からの発信 「日本につながった私、そして私と家族」

ワン イェン

王 雁 さん (大阪府立門真なみはや高等学校中国語教諭 1990 年来日・日本生まれの二人の娘をもつ母親)

● 14:30～15:30 講演 「定住外国人「だから」抱える「家族」の問題とは？」

講 師： 田中 ネリさん (臨床心理士 四谷ゆいクリニック)

● 15:30～17:00 質疑応答から考える「家族」のこと

対 談： 野沢 慎司さん (明治学院大学 副学長、社会学部教授)、田中 ネリさん

受講ご希望の方は、裏面「申込書」に必要事項をご記入の上、FAX (03-5449-1332) にてお送りください。
電子メール (kensyu@support21.or.jp) でお申込みの場合は同様の内容をメール本文にお書きください。

主催：社会福祉法人さぽうと21 <http://www.support21.or.jp>

【お問い合わせ先】〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階
TEL. 03-5449-1331 FAX. 03-5449-1332 [e-mail] kensyu@support21.or.jp

共催：明治学院大学「内なる国際化」プロジェクト (教養教育センター・社会学部)

さぼうと21の活動の始まりは「インドシナ難民を助ける会」が設立された1979年に遡ります。それからすでに30余年という月日が流れました。日本語学習の支援や教科学習の支援、学業を応援するための支援金支給といった活動を通じて、数多くの外国につながる子どもや若者と出会い、その成長を見てきました。

そしていつも思います。「やっぱり最後は家族かな」と。

「外国につながる」若者世代、「日本につながった」親世代の方々に、「家族」というちょっと面倒なテーマでお話いただきます。そして、臨床心理士の田中ネリさん、家族社会学をご専門とする野沢慎司さんに、「異国日本を生きる家族のありよう」「家族の果たす役割」などをキーワードにお話を深めていただければと思います。

【講師のご紹介】

◆ 田中 ネリさん（臨床心理士 四谷ゆいクリニック）

ラパス市ボリビア共和国で生まれて育ち、18歳で来日した日系2世。上智大学文学研究科教育学専攻の修士課程を修了。臨床心理士として東京医科大学病院口腔外科勤務を経て、現在千葉メンタルクリニックと四谷ゆいクリニックに勤務。在日ラテンアメリカ人の心理相談をクリニックで実施。またイペロアメリカこころの支援研究会の一員としてラテンアメリカ人が多い地域にアウトリーチのカウンセリングを実施。

◆ 野沢 慎司さん（明治学院大学 副学長／社会学部教授）

静岡大学 助教授を経て、1999年より明治学院大学 社会学部 教授。専門は家族社会学、社会的ネットワーク論。親の再婚を経験した子どものいる家族—ステップファミリーの研究に取り組んでいる。近年は、明治学院大学の「内なる国際化」プロジェクトの共同代表として、国境を越えて移動する子どもたちに関心を寄せる。『Q&A ステップファミリーの基礎知識』（明石書店）、『ネットワーク論に何ができるか』（勁草書房）などがある。

【交通のご案内】

- 「品川駅」高輪口より都営バス「目黒駅前」行き、「明治学院前」下車
※ 徒歩 約17分
- 「目黒駅」東口より都営バス「大井競馬場」行き、「明治学院前」下車
※ 徒歩 約20分
- 南北線・三田線「白金台駅」2番出口より徒歩 約7分
- 南北線・三田線「白金高輪駅」1番出口より徒歩 約7分
- 浅草線「高輪台駅」A2番出口より徒歩 約7分



申込書送付先

メールアドレス： kensyu@support21.or.jp FAX 番号： 03-5449-1332

郵送先： 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階 さぼうと21

理解を深める講座 参加申込書	
【お名前】 <small>ふりがな</small>	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。
【ご住所】 〒	-
【Eメールアドレス】	@
【ご所属（ボランティア教室など）】 名称：	活動地域：
●ご質問等があれば、お書きください。	
●今後、当会が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。（はい・いいえ）	

※ ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。

ワークショップ

だい かい め

第5回目のテーマ:

ご しんじゅつ まな

「護身術を学ぼう」



ない よう
内 容

自分の身を守るために、「護身術」

を学び、みんなで練習します

あさかわせんせい き
浅川先生が来てくださいます！

ひ がつ みっか ど
日にち: 12月3日(土) 12:00~13:30

ば しょ
場 所: さぼうと21

しながわ く かみおおさき かい
品川区上大崎2-12-2 ミズビル 6階

TEL:03-5449-1331

ざいじゅうがいこくじん む り かい ふか こう ざ
在住外国人向け ワークショップ / 理解を深める講座

あらた し さいがい おそ
改めて知る「災害の恐ろしさ」

あらた まな ぼうさい
改めて学ぶ「防災」

ひ さい ご ふっこう あゆ うかが
3.11の被災、その後の復興への歩みを伺いながら

ひ
日にち

2月4日（土）12:00～15:15

ない よう
内 容

第一部

ひ さいじ けいけん ご
12:00～13:30 「被災時の経験とその後」

講師

たかはし まゆ み あべ ひでたか いしのまきし
高橋 真由美さん・阿部 秀隆さん(石巻市より)

第二部

じしん こうざ
13:45～15:15 「地震ITSUMO講座」

講師

おぐら たけよし ほうじん
小倉 丈佳さん (NPO法人プラス・アーツ)

とうじつ ごつやくつ
※ 当日は、ビルマ語通訳付きです。

ば しょ
場 所

しゃかい ふく し ほうじん
社会福祉法人さぽうと21

住所

東京都 品川区 上大崎2-12-2 ミズホビル6階

TEL

03-5449-1331

さんかひ
参加費

むりょう
無料

※参加ご希望の方は国籍を問わず、どなたでも歓迎です！
席数に限りがございますので、先着順にて受付とさせていただきます。
参加ご希望の方は、お早目にさぽうと21までお電話ください。

ひがしにほんだいしんさい けいけん ふたり はなし うかが さいがい あらた かんが きかい
東日本大震災を経験したお二人からお話を伺い、災害について改めて考える機会とし

ましよう。そして、ぼうさい わたし きょう ぐたいてき そな まな
ましよう。そして、防災のために、私たちが今日からできる具体的な備えを学びましよう。

【平成 28 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

日本語教室ボランティアのための ブラッシュアップ講座

ボランティア教室で活動中の皆さん、日頃の活動の中で戸惑ったり悩んだりすることはありませんか。皆さんの日々の活動がより生き生きとしたものになることを願って、今年度は「教材を考える」をテーマとして全8回の講座を行います。参加者皆で、共に学び、共に考えていきたいと思います。やはり今年も、「参加」型の講座です。ぜひ一緒ください。

	開催日 13:00-15:40	各回のテーマ・講師 ※内容については一部変更の可能性があります。
1	10月23日(日)	お悩み事あれこれ相談・教材概説 岩田一成(聖心女子大学 日本語文学科 准教授)
2	10月30日(日)	『いっぽ にほんご さんぽ - 暮らしの日本語教室<1><2>』 宿谷和子(星美学園短期大学非常勤講師 にほんごの会企業組合理事)
3	11月6日(日)	『イラスト満載! 日本語教師のための活動アイデアブック』 小山 悟 (九州大学留学生センター日本語教育部門准教授 日本語教育学会理事)
4	11月27日(日)	日本語文型辞典の活用 ~ 文法の調べ方、どうやって? 岩田一成(聖心女子大学 日本語文学科 准教授)
5	12月11日(日)	『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化 - 多辺田家が行く!!』 武田聡子(NPO 法人日本語教育研究所 理事・主任研究員)
6	12月25日(日)	ウェブ教材、どう使う? 矢崎理恵(さぽうと21) 講座ナビゲーター(奥原・長崎)
7	1月22日(日)	わたしの教材、どう使える? 講座ナビゲーター(岩田・奥原・長崎)
8	1月29日(日)	お悩み事、さてどう解決する? 講座ナビゲーター(岩田・奥原・長崎)

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動中の方(原則として全回受講可能な方)

* 希望者多数の場合は、これまで当会の講座を受講したことのない方を優先させていただきます。

■会場：社会福祉法人さぽうと21 6階会議室

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階
JR山の手線「目黒駅」東口より徒歩3分
東急目黒線、三田線、南北線「目黒駅」正面口より徒歩5分



■申込方法：裏面申込書に必要事項をご記入の上、メール、

FAX、郵送のいずれかでご提出ください。

* **10月10日(月)**にてお申込みの受付を締め切らせていただきます。

* 先着順にて受付とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。



主催：社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL.03-5449-1331 FAX.03-5449-1332 kensyu@support21.or.jp

さぽうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

「現場に役立つ講座」「お持ち帰りが実感できる講座」「共に学び合う楽しさを体感できる講座」を目指して、今年度も以下 3 名の方々に講座「ナビゲーター」をお願いし、企画・運営しています。

いわた かずなり
岩田 一成

聖心女子大学日本語文学科准教授。大学卒業後、日本語教師として青年海外協力隊に参加（中国内蒙古自治区派遣）。大学院生のときからボランティア日本語教室に通っています。関西人です。でっかい抽象論よりも、細かくても具体的な話が好きです。

おくはら じゅんこ
奥原 淳子

87年より日本語教育に従事。現在、留学生の日本語を担当。教室で「主役にならない教師」を模索し、奮闘中。学習は「学習者」が「自分」ですものですね。いかにその環境を作るか一緒に考えていきましょう！

ながさき きよみ
長崎 清美

92年より日本語教育に従事。好奇心の赴くまま、学校、地域、海外（ケニア）に首をつっこみ、現在はビジネスマンへの日本語研修、留学生の就職活動サポートを中心に活動中。新しい出会いを楽しみましょう！

◆お知らせ◆

本講座とは別に、皆さんの「日本語教室」や「地域」でボランティア向け講座の開催を希望される場合は、当会までご連絡下さい。

「講座を行いたいけれど、何から手をつければいいのか分からない」「何となく講座のイメージはあるけれど、どうやって実施までこぎつけたらいいか不安」「講座を開きたいけれど、お金がかかることは現状では無理」…さぼると21が、皆さんのご希望をうかがいながら、講座の企画から実施までをお手伝いします！

申込書送付先

メールアドレス： kensyu@support21.or.jp FAX 番号： 03-5449-1332

郵送先： 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

ブラッシュアップ講座 参加申込書

【お名前】

【お電話番号】

※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。

【ご住所】 〒 —

【E メールアドレス】

@

【ご所属（ボランティア教室など）】

名称：

活動地域：

活動歴：

年

月

★ご質問等があれば、お書きください。

※ ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。

※ 今後、当団体が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。（はい・いいえ）

【平成28年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

日本語教室ボランティアのための スキルアップ講座

ボランティア教室で活動中の皆さん、日頃の活動の中で戸惑ったり悩んだりすることはありませんか。皆さんの日々の活動がより生き生きとしたものになることを願って、「日本語学習支援の基礎を学ぶ」というテーマで、全4回の講座を行います。参加者皆で、共に学び、共に考えていきたいと思えます。「参加」型の講座で、あなたの日々の日本語学習支援を振り返ってみませんか。

	開催日 18:30-21:00	各回のテーマ・講師 ※内容については一部変更の可能性があります。
1	2月15日(水)	日本語教室で出会う「相手」と「自分」を知ろう! 田中 美穂子 (早稲田大学日本語教育研究センター 非常勤インストラクター)
2	3月1日(水)	テキストを使ってレッスンを設計しよう! 田中 美穂子 (早稲田大学日本語教育研究センター 非常勤インストラクター)
3	3月7日(火)	生活場面のテーマに基づいて自由にレッスンを設計しよう! 田中 美穂子 (早稲田大学日本語教育研究センター 非常勤インストラクター)
4	3月15日(水)	日本語学習支援の基礎を振り返ろう! 矢崎 理恵 (社会福祉法人さぽうと21 学習支援室コーディネーター)

講師：田中 美穂子 (たなか みほこ)

早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了。早稲田大学日本語教育研究センター非常勤インストラクター。大学時代に杉並区で日本語ボランティアの活動を始める。卒業後はヤマハ株式会社に勤務しながら東京、横浜、浜松、沖縄など各地の日本語教室でボランティアを続け、日本語教師に転身。国内の日本語学校、香港大学傘下の成人教育機関、中国人民大学などを経て現職。留学生や地域の外国籍住民(含む年少者)、海外の大学生、社会人など多様な人々への日本語教育に携わる。

講師：矢崎 理恵 (やざき りえ)

国際基督教大学で日本語学を専攻。卒業後、青年海外協力隊参加、フィリピン外務研修所で日本語の講師を務める。帰国後、日本語学校や大学などで日本語教育に携わる。現在は、中国帰国者支援交流センター等で日本語教師を続けるかたわら、社会福祉法人さぽうと21で学習支援室のコーディネーターを務める。平成28年度東京都多文化共生推進委員会委員。

■ **対象：地域日本語教室でボランティアとして活動中の方** (原則として全回受講可能な方)

■ **会場：かがやきプラザ** 東京都千代田区九段南 1-6-10

※東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅から徒歩5分

■ **申込方法：以下団体宛て、Eメール、FAX、電話のいずれかで「お名前」「ご連絡先お電話番号」「活動先団体」をお知らせください。**

※先着順にて受付とさせていただきます。



主催：社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL.03-5449-1331 FAX.03-5449-1332 kensyu@support21.or.jp

さぽうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

※本講座は千代田区内で活動中の「ちよだ日本語カフェ『Swan(すわん)』」のご協力により実施いたします。

日本と外国にルーツをもつ私たちの 「進路選択」

今年は、9名・5カ国のルーツをもつ学生たちが登壇。
「日本」と「親の出身国」のダブルルーツをもつ若者が、
自分の選んだ進路と研究について語ります。
ぜひご参加ください。(入場料：無料)

※お問い合わせ・お申し込み先：さぽうと21事務局
TEL：03-5449-1331 E-mail：info@support21.or.jp

日時 2017年2月26日(日)
13:30~17:00

会場 国際文化会館 講堂

東京メトロ 日比谷線 六本木駅 徒歩10分(3番出口)
都営大江戸線 麻布十番駅 徒歩5分(7番出口)
(東京都 港区 六本木5-11-16)

2016年度 坪井基金 支援生 私たちが発表します!



おおにし
大西 アリネ ミキ

山梨大学 医学部
(ブラジル)
生活環境と人種と病気



あきやま つよし
秋山 強志

東京理科大学大学院 工学研究科
(元ベトナム)
さぽうと21との出会い



あおやま りゅうじ
青山 龍司

東京大学大学院 新領域創成科学研究科
(元カンボジア)
タンパク質研究



よしみ
レバザ 義美

筑波大学大学院 数理物質科学研究科
(ペルー)
高エネルギー研究室での研究



むとう まさひろ
武藤 真弘

慶応義塾大学大学院 理工学研究科
(元ベトナム)
機械学習や人工知能



バレンスエラ テジョ エド

神戸大学大学院 人文学研究科
(ペルー)
米国におけるマイノリティ文学



オルム デザイア チリマ

国際基督教大学 教養学部
(ナイジェリア)
定住外国人二世のアイデンティティ



グエン タット トルン

東北大学大学院 理学研究科
(ベトナム)
分子は揺れている



いちしま
市島ホセ

京都大学大学院 医学研究科
(ペルー)
研究室紹介 (iPS 細胞)

2016年度 坪井基金 支援生が、 日本学術振興会^{*} 特別研究員に選ばれました!



いちしま
市島ホセさん (ペルー)

京都大学大学院 医学研究科 医科学専攻
博士後期課程 2年

日本学術振興会 とは……

天皇陛下の御下賜金により1932年に創設。
優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。

私の研究室は iPS 細胞研究所の臨床応用部門に所属し、人工多能性幹細胞である iPS 細胞を用いた疾患の病態再現を行っています。主に取り扱っている疾患は、発症の原因や治療法がまだ決まっていない難病です。その中でも、私は神経疾患を解析対象にしています。

私のメインテーマは、iPS 細胞から神経細胞を作り、神経疾患の原因となる遺伝子がどのように関わっているのかを解析することです。原因遺伝子の働きは、iPS 細胞の中にある時と神経細胞の中にある時とは若干変わります。この違いは大変興味深く、病因の仕組みを知る上で重要なカギになると思われます。

日々の研究では必ずしもよい結果ばかりではありませんが、私の研究成果が、いずれ病気の原因解明や治療法の開発に繋がることを期待しながら頑張っています。将来は、国の研究機関に研究員として勤めることを希望しています。

第4回 エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞いたしました

「エクセレントNPO」を目指そう市民会議は、市民と民間非営利組織のつながりによる強く豊かな市民社会を目指して、「市民の参加機会」「課題解決力」「組織の持続性」の3つの観点において、優れたNPOを毎年表彰しています。

2016年12月、応募した66団体の中から当会が「市民賞」に選ばれました。授賞理由として、設立以来、活動の殆どがボランティアによって支えられてきたこと、現在も100名がボランティア登録しており、ボランティア運営についての実績、評判や社会的信頼がしっかりと定着していることが挙げられています。この賞は、当会の活動を長年支えてくださっている会員・寄付者の方々や、学習支援室の運営にご協力頂いている多くのボランティア講師の方々に贈られた賞だと感じております。

皆様のご支援に改めて深く御礼申し上げます。今後も多くの方々にご参加頂ける、開かれた場を目指してまいります。



大賞受賞者の皆さんと一緒に



学習支援室、いつもの風景



新年恒例の「ボランティア顔合わせ会」には今年も総勢65名がご参加

より多くの「難民等定住外国人」の自立を支援するために より多くの「ボランティア」のお役に立てるように

平成28(2016)年度も、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業／地域日本語教育実践プログラム A」に採択され、「体験を通して学ぶ日本語教室」「定住外国人の生活力向上を目指したワークショップ」の開催、「日本語教室ボランティアのためのブラッシュアップ講座」「スキルアップ講座」「理解を深める講座」の実施、動画教材の作成など、通常事業の中ではカバーできない様々な取り組みを続けています。

今年度の事業の特徴は、「アウトリーチ」と「連携」です。

ここ数年、文化庁委託事業の中で、さぼうと21を一つの拠点として「ワークショップ」を続けてきました。「ワーカーズ・コレクティブ生活クラブ FP の会」のご協力を頂き、すでに「知っておきたいわが家の教育費」、「知っておきたい日本の年金・医療制度」など、生活者にとって必要な様々なテーマについて、「やさしい日本語+ふりがな付」のプレゼンテーション用資料、説明冊子が完成しています。せっかくの有益な資料を、より多くの在住外国人の方々に利用して頂ければと思い、今年度は、それを必要とする方々のもとに、こちらから出向いて(アウトリーチ)、ワークショップを行うこととしました。日頃の活動の中で少しずつ築いてきた他団体とのネットワークに助けられ、福島県いわき市など3か所で「出張講座」を行うことができました。まさに「連携」の賜物だと感じています。

また、文化庁委託事業の中では恒例となった「理解を深める講座」、「地域日本語教室ボランティアのためのブラッシュアップ講座」は、ここ数年、毎年のように参加して下さる方々が何人もいらっしゃいます。どちらの講座も単なる「学びの場」であるだけでなく、各地域で活躍する日本語学習支援のボランティアの方々が、共感できる仲間と出会い、在住外国人への理解を深めるべく考え、日頃の活動の経験や悩みを語り合う、貴重な「場」となりつつあります。

「沢山の出会いを作って頂きその中で多くを学ばせて頂き本当に有り難うございました。」「今後も納得できる内容を期待します」

(「ボランティアのためのブラッシュアップ講座」参加者アンケートより)

「今後、ダイバーシティを実現していくためにも、多文化理解を深めていくためにも、継続して展開していただきたい」「家族のテーマ(子世代+親世代)を扱えるのは、子ども、親の両方の学習支援をしているさぼうと21ならではのと思いました。大変勉強になる講座をありがとうございました」

(「理解を深める講座」参加者アンケートより)

参加者が講座に参加することで元気ももらって会場を後にして下さる、そんな講座を継続できていることは、長年日本語教育や学習支援の現場をもち、活動を続けてきている団体にとって、大きな喜びです。



ホームページでも公開している「知っておきたいシリーズ」教材(生活力向上のためのワークショップ)



今回のテーマは「教材を考える」、受講者が主役の参加型講座健在(ブラッシュアップ講座)



テーマは「異国日本を生きる私、そして私と家族」、明治学院大学「内なる国際化プロジェクト」との共催で実施(理解を深める講座)

【写真】講師の一人、臨床心理士の田中ネリ先生のルーツはペルー。ダイバーシティのパーに敬服

コラボ企画!

さぼうと21 × LUSH 「チャリティパーティー」

英国発の化粧品ブランド LUSH (ラッシュ) 様とさぼうと21がコラボし、日本で暮らす難民を支援するイベント「チャリティパーティー」を実施しました。イベント中に購入された対象商品の売り上げが、本イベントのパートナー団体である“なんみんフォーラム (FRJ)”等に寄付されるという取り組みです。

1月8日(日)、LUSH 代官山店にさぼうと21のミニブースを設け、ブースに立ち寄ってくださった方に、難民支援の活動についてお話をしました。代官山という土地柄からか、国際色豊かな雰囲気が店内にもあふれ、外国人のお客様も多く、様々な方がブースを訪れて熱心に話を聞いてくださいました。また、当会のボランティアの方も遊びに来てくださり、皆さんの温かいお気持ちにとっても励まされた一日となりました。ありがとうございました。

本イベントの開催にあたり、企画から運営までご協力くださったLUSH 代官山店スタッフの皆さんに心より御礼申し上げます。今回のご寄付は、難民等定住外国人の自立支援のため、大切に使用させていただきます。



商品をご購入くださった方々と一緒に

2017年度 年会費について ～4月から新年度となります～

今年も難民等の外国出身者の学習支援や相談事業、就学支援(給付型奨学金)を通じて、生活上さまざまな困難を抱えている方々に寄り添う活動を続けてまいります。昨年末にエクセレントNPO大賞「市民賞」を頂きましたが、会の活動をより多くの方に身近に感じて頂けるよう努めてまいります。

会員の皆さまへ

4月～翌3月が会員年度となっております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付について

毎月定額を自動引き落としさせて頂くマンスリーサポーター制度もございます。お問い合わせくださいませ。

※お問い合わせ先：さぼうと21事務局 (TEL.03-5449-1331)



Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.62 2017.2

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぼうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、定住外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。認定NPO法人難民を助ける会 (AAR JAPAN) を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省 (当時) 認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治・宗教に中立な立場で活動しています。学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援して下さる方を求めています!

- 会 員：法人会費50,000円/個人会費5,000円
- ご寄付：随時受付
- マンスリーサポーター：随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

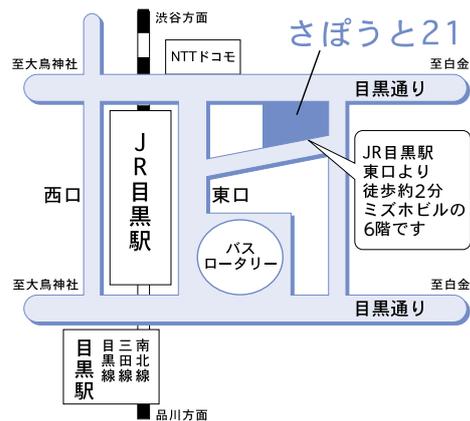
◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行	振替口座：00180-7-25470 加入者名：社会福祉法人 さぼうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください
三井住友銀行	目黒支店(普) 851872 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち
みずほ銀行	目黒支店(普) 1180279 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち ※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

社会福祉法人 さぼうと21

住所：	〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階
TEL：	FAX：
03-5449-1331	03-5449-1332
E-mail：	URL：
info@support21.or.jp	http://www.support21.or.jp



6. 今回の日本語クラスは、あなたの日本での生活に役立ちましたか。
6။ ဒီဂျပန်စာသင်တန်းကိုတက်ရောက်ပြီးသင့်၏ဂျပန်နိုင်ငံတွင်နေထိုင်မှုအတွက်အထောက်အကူရှိပါသလား။
受講する前と今を比べて、具体的に書いてください。
သင်တန်းမတက်မှီနှင့်တက်ရောက်ပြီးသင်၏တိုးတက်မှုကိုအသေးစိတ်ရေးပါ။

7. 今回の日本語のクラスを受講して、あなたの日本語力は伸びましたか。
7။ ဒီဂျပန်စာသင်တန်းကိုတက်ရောက်ခြင်းဖြင့်သင့်၏ဂျပန်စာတိုးတက်မှုရှိပါသလား။
受講する前と今を比べて、具体的に書いてください。
သင်တန်းမတက်မှီနှင့်တက်ရောက်ပြီးသင်၏တိုးတက်မှုကိုအသေးစိတ်ရေးပါ။

8. 今回の日本語クラスを受講して、あなた自身に何か変化はありましたか。
8။ ဒီဂျပန်စာသင်တန်းကိုတက်ရောက်ခြင်းဖြင့်သင့်၌ဘာအပြောင်းအလဲရှိပါသလား။
受講する前と今を比べて、具体的に書いてください。
သင်တန်းမတက်မှီနှင့်တက်ရောက်ပြီးသင်၏တိုးတက်မှုကိုအသေးစိတ်ရေးပါ။

9. 今回の日本語クラスは「日本で生活する外国人のための日本語クラス」でした。
9။ ဒီဂျပန်စာသင်တန်းသည် (ဂျပန်နိုင်ငံအတွင်းနေထိုင်သည့်နိုင်ငံခြားသားများအတွက်ဂျပန်စာသင်တန်း) ဖြစ်သည်။
将来、またこのようなクラスを行う場合、どうしたら、もっと良いクラスになると思いますか。
နောက်နောင်၌ကျင့်သို့ သောသင်တန်းကိုဖွင့်လှစ်လျှင် မည်ကဲ့သို့ သောအကြောင်းအရာများသင်ကြားပါကပို၍
ကောင်းသောသင်တန်းဖြစ်မယ်လို့ ထင်ပါသလည်း။

10. 受講しての感想を自由に書いてください。
10။ သင်တန်းတက်ရောက်ပြီးသင့်၏ခံစားချက်၊ထင်မြင်ချက်၊သဘောတရားကိုလွတ်လပ်စွာရေးပါ။

今日の活動

1. 今日の内容は全体的にいかがでしたか。○をつけてください。

大変有意義だった 有意義だった どちらでもない あまり有意義ではなかった 全く有意義ではなかった

2. どのような点からそう思われましたか。

.....
.....

第1回～第8回までの講座全体の活動

1. 第1回～8回まで、全体的に講座内容はいかがでしたか。○をつけてください。

大変有意義だった 有意義だった どちらでもない あまり有意義ではなかった 全く有意義ではなかった

2. どのような点からそう思われましたか。

.....
.....

3. 本講座は「教材」をテーマにしました。このテーマについて、どう思われますか。

.....
.....

4. その他、ご意見やご感想など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました！

平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
評価アンケートの実施について

【地域日本語教育実践プログラム（A）】

○人材の育成研修 ※指導者研修受講者対象 ※(1)～(4)はありません。

(5) このプログラムを受ける前よりも、「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解が深まったと思いますか。

- ①深まったと思う
- ②まあまあ深まったと思う
- ③深まらなかった
- ④分からない

(6) このプログラムを受けて、「生活者としての外国人」のための日本語教育に関わってみたいと思いましたか。

(※日本語教育のボランティアをしたことがない方のみお答えください。)

- ①関わってみたいと思う
- ②できれば関わってみたいと思う
- ③関わってみたいと思わない
- ④分からない

2016（平成28）年度
「理解を深める講座 ～異国日本を生きる私、そして私と家族～」

■ 「定住外国人・若者世代、親世代からの発信」について

(1) 内容は、若者世代、親世代がそれぞれに抱えるご自身のこと、ご家族への想いを理解するのに役立ちましたか。

大変役立った 役立った どちらとも言えない あまり役立たなかった 全く役立たなかった

理由：

(2) 特に関心をもったこと/役立ったことは何ですか。

■ 田中、野沢、各講師による「講演」と「対談」について

(1) 内容は、定住外国人が抱える「家族」の問題、「家族」の果たす役割を理解するのに役立ちましたか？

大変役立った 役立った どちらとも言えない あまり役立たなかった 全く役立たなかった

(2) 特に関心をもったこと/役立ったこと、感想などお書きください。

■ その他、全体を通じてのご感想など、自由にお書きください。

アンケート

2016 年度 「スキルアップ講座」

第____回____月____日

1. 全体的に今回の内容はいかがでしたか。○をつけてください。

大変有意義だった 有意義だった どちらでもない あまり有意義ではなかった 全く有意義ではなかった

2. どのような点からそう思われましたか。

.....

3. 何かご意見、ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

.....

ご協力ありがとうございました！